

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 12 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・29	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を十分に把握しきれていない。また、現状として活躍してもらえる環境の整備が不十分であると言える。	①職員一人ひとりがまず地域の社会資源であるとの自覚をもち、自ら地域に働きかけができる。 ②地域の人たちが気軽に立ち寄れる場所となる。	・職員に対し研修を持ち啓蒙を行う。 ・魅力的で立ち止まって見てみたいと思わせるようにホームの外観を整える。 ・町内会に対し貢献できる参加の仕方を職員や入居者様と考え実践する。	12ヶ月
2	34・35	事故発生時や災害時の訓練は行っているが職員の入れ替わり等により実践力が十分とはいえない。また、備蓄品を蓄えておくためのスペースを現状では確保できていない。	①全ての職員が応急手当や救急救命訓練について実践力を身に着けることができる。 ②備蓄品倉庫を設置し、災害時に充分対応可能な5日分以上の物品を備える。	・施設内で救急救命訓練や災害時の避難訓練を行う。 ・施設内外の整理整頓を進め、備蓄の為のスペース確保につとめる。	6ヶ月
3	45	立位が不安定な方は職員の2人介助が必要となる為、職員の都合で時間帯やタイミングを決められてしまいがちである。また、入浴の機会も十分であるとは言えない。入浴拒否のある方にも入浴を楽しんで頂きたい。	①全てのご入居者が入浴を楽しむことができる。	・立位の不安定な方が不安や羞恥心をあまり感じることなく自身のタイミングでゆっくりと入浴できるよう福祉用具(シャワーキャリー)を購入する。 ・浴室を飾ったり入浴剤を活用することで浴室に入りやすい環境を作る。	3ヶ月
4	49	現在、空いている車イスが1台だけなので歩行が不安定な方が同時に買物や散歩などの外出を希望された場合、対応が難しい。	①個々のご入居者の希望に沿った日常的な外出が実践される。	・立位や歩行が不安定な方も気軽に外出が楽しめるように福祉用具(車イス)を購入する。	3ヶ月
5	52・53	落ち着きなく歩き回ったり、すぐに居室に戻ってしまわれるご入居者がいる。	①居心地の良い共有空間で各自が楽しみを持ちながらも思い思いに過ごせる。	・現在、カラオケ機器の導入により歌を楽しまれる方、歌っている方に拍手や声援を送る方、その雰囲気を楽しまれる方とそれぞれに共有空間での自らの居場所を作り上げている。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。